

CAP (子どもへの暴力防止)プログラム とは

全国の幼稚園、保育園、小中学校、特別支援学校、児童養護施設などで実施されています。〈大人ワークショップ〉と〈子どもワークショップ〉があります。子どもが学ぶ内容を身近な大人があらかじめ知っておくことで、助けを求めた子どもの気持ちを汲めるように配慮されています。

もし暴力にあって3つの権利をとられそうになったら

NO いやと言っていいいよ ひとりで言えないときは
友だちといっしょに言ってみよう

GO にげることもできるよ 特別なさけび声をだそう

TELL 相談しよう 自分が困っていて誰かに言うのは相談だよ
言いつけることにはならないよ



詳しくは CAP いばらき website をご覧ください



CAP いばらき website

大人ワークショップの感想

劇もありわかりやすかったです。
子どもの話をしっかりと肯定的に
聴くことの大切さを実感しました。

相談することと言いつけることの
違いにはハッとしました。性暴力は
男の子でも女の子でもあう可能性
があると知り、先に対処法を知って
おくことができたかったです。

子ども自身が加害をしていると
気づききっかけになるかもしれない
と思いました。CAP は加害者を責めること
ではなく被害者の持っている力を高め
ることに視点を置いているので、
加害者も相談しやすいと思います。

子どもワークショップの感想

安心できないひみつは
誰かに相談しよう。

劇がおもしろかった。
いやだということは
大切だとわかった。

知らない人に声をかけられたら
何をするかが知れてよかった。

申し込み先

認定 NPO 法人水戸こどもの劇場 CAP いばらき

〒310-0912 茨城県水戸市見川 2-82-11

TEL/FAX 029-255-0908 月～金 10:00～17:00

E-mail gekijo310@citrus.ocn.ne.jp